

別記様式（第 14 条関係）

附属機関等会議録

令和 4 年 12 月 1 日

会 議 の 名 称	令和 4 年度 第 48 回 島田市 諏訪原城跡整備委員会
開 催 日 時	令和 4 年 11 月 30 日 (水曜日) 13 時 45 分から 15 時 30 分まで
開 催 場 所	島田市博物館工作室
会 議 の 議 題	<p>《開会》</p> <p>《観光文化部長あいさつ》</p> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 諏訪原城クラウドファンディングによる整備事業について ● 諏訪原城応援隊イベントについて <p>《協議事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和 4 年度 大手曲輪堀の基本設計について ● 令和 5 年度 諏訪原城跡事業計画について ● 今後の諏訪原城跡整備事業計画（案）について <p>《現地確認》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 園路整備箇所 ● その他
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公開</div> ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	
公開の場合の傍聴人の数	0 人
出席者の氏名等	<p>整備委員：小和田委員長、三浦副委員長、高瀬委員、加藤委員、前田委員、中井委員、佐藤観光文化部長</p> <p>アドバイザー：武田主査（県文化財課）</p> <p>事務局：又平課長、萩原係長、飯塚主任、坂巻学芸員、山寄主事、岩崎学芸員、杉本会計年度任用職員、渡邊技師（建設課）</p> <p>株式会社フジヤマ：中村氏、坂田氏、杉山氏</p>
会 議 の 結 果	<p>《開会》</p> <p>《観光文化部長あいさつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回整備委員会開催後に、諏訪原城跡では、クラウドファンディングによる環境整備の実施、三浦先生の講演会や諏訪原城応援隊によるお城丸わかりトークショーや諏訪原城のポイントツアーなどを開催し、大勢の方に諏訪原城を知っていただくことができた。 ・ 来年度は、家康公をテーマとした大河ドラマも放映され、諏訪原城も築城 450 周年という年に当たるため、史跡整備事業だけではなく、諏訪原城に関する教育普及活動や諏訪原城応援隊イベントなどにも力を入れていきたい。

《報告事項》

● 諏訪原城クラウドファンディングによる整備事業について

- ・ 昨年度に引き続き島田市観光協会主催のクラウドファンディングを実施した。
- ・ 実施期間 令和4年7月1日～令和4年8月31日
- ・ 寄付額 1,194,000円（寄付口数 151口／寄付者数 137人）
- ・ 本曲輪東斜面の木々の伐採を実施。景観の向上した。
- ・ 来年度は実施しない。

● 諏訪原城応援隊イベントについて

- ・ 令和4年9月11日（日）に諏訪原城講演会を開催した
- ・ 講師 三浦正幸委員
- ・ 参加者数 97名
- ・ 令和4年10月9日（日）に諏訪原城応援隊イベントを開催した。
- ・ 参加者数 午前：182人 午後：56人
- ・ 島田ライオンズクラブから寄贈された横断幕を二の曲輪北馬出の薬医門に設置した。

（質疑応答）

- ・ 委員から、諏訪原城応援隊イベントの写真に物見台が写っているが、これは現在もあるのかという質問があったため、事務局から、二の曲輪中馬出を鳥瞰的に見られるように、12月28日まで設置していると回答した。

《協議事項》

● 令和4年度 大手曲輪堀の基本設計について

- ・ 前回の整備委員会時に、堀の整備をどこまで行うのか、という議論が出た。それについて、事務局としては、基本的には発掘調査で確認された堀の形状がわかるような整備を目指す。
- ・ 今回の整備委員会では、堀の舗装材をどうするか議論を行った。

（舗装材としては、土質舗装、コンクリート舗装、芝舗装がある）

<大手北外堀>

- ・ 発掘調査の結果を基に堀勾配を設定すると安定勾配以上となり、アンカーピンの設置が必要となるため、前回の委員会では安定勾配以下で設定した。
- ・ 土墨は現状を傷めないよう、形が足りない部分を成形していく。
- ・ 平面プランについては、今後の発掘調査の結果を考慮して作成していく予定。現段階では、縄張り図と発掘調査の結果を基にプランを設定している。

<大手南外堀>

- ・北外堀同様安定勾配以下の勾配とするため、南外堀と同様の形状になってしまうが、堀底の幅を変えることで箱堀と薬研堀の区別がつくようにしたい。
- ・土墨は消滅しており、形状が判明しないため、堀の形状のみを整備していく。

(質疑応答)

- ・委員から、大手北外堀の城内側の土墨の肩部分が、発掘調査成果と異なり城内側に来ているが、どのような根拠があるのか、という質問があり、フジヤマから、発掘調査成果が一断面しかないため、縄張図も参考に設定していると回答した。それに対し、委員からは、縄張図ではなく、発掘調査の結果を優先して設定するようという指示があった。
- ・委員から、資料2の標準断面図の1の地層の上にさらに線があるが、これは何かという質問があったため、フジヤマから、昨年度測量した際の地表面であると回答した。それに対し委員からは、遺構の保護層を確保できるような形で収める方が良いという意見が出た。後程加藤委員に助言をいただきながら図面を修正し、後日修正後の図面を委員に確認してもらうこととなった。
- ・委員から、舗装の仕方が3つ挙げられているが、どれを採用するのかと質問があったため、フジヤマから、芝舗装を採用する予定であると回答した。それに対し、管理が必要となるが、芝舗装でいけるのであれば問題ないという意見が出た。
- ・委員から、大手南外堀の角度について、現状の設定では薬研堀に見えないという指摘があった。それに対しフジヤマから、これ以上急な勾配にすると安定勾配以上とあり、アンカーピンの設置が必要となってしまう、保護層の関係で遺構への影響が懸念されるため、アンカーピンが不要な限界の角度で設定していると説明した。委員からは、角度の変更が不可能であるならば、堀底の幅を狭くすることでV字に近い形状にすることは可能かと質問があり、フジヤマから可能であると回答した。委員からは、見た目でも薬研堀と判断できるようにするようという指示があった。

●令和5年度 諏訪原城跡事業計画について

- ・築城450周年と大河ドラマ「どうする家康」が重なっているため、イベントを実施して盛り上げていきたい。
- ・第92回企画展「築城450年記念 諏訪原城」開催について事務局から説明を行った。内容については下記のとおりである。

開催期間 令和5年7月1日(土)～9月24日(日)

展示資料については、武田・徳川に関わる資料を調査中である。

博物館講座およびワークショップについても、春風亭昇太氏

	<p>を招いて一日館長を務めていただく等、イベントを計画している。</p> <p>築城450周年諏訪原城跡記念シンポジウムについては、開催日時を令和5年12月10日（日）13:30からとする。</p> <p>(質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、展示資料で、諏訪原城に関する刀剣はないかという質問があったため、事務局からは刀剣に関しては調査中であるが、火縄銃については、伝徳川家康所用の火縄銃があるので、借用できないか交渉中であると回答した。 ・委員から、香川元太郎氏の絵は借用可能かという質問があったので、事務局から、博物館で所有しているものと展示すると回答した。 ・委員から、絵図面や古文書ばかりよりも、刀などが展示されている方が来館者は喜ぶとご意見をいただいた。 <p>●今後の整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪原城整備計画年次表（案）を提示し。整備機関の延伸の可能性について下記のとおり報告した。 <p>現在整備中の二の曲輪北馬出、大手曲輪以外の新しい箇所を整備を実施するには、保存活用計画を策定した後でないとい整備ができないと県から指導があった。そのため、当初令和7年から開始予定であった本曲輪や二の曲輪の整備は、令和7年の後期に地域計画を策定した後、令和9・10年で諏訪原城の保存活用計画を策定した後に開始する。その結果、整備の期間が令和20年までとなる予定である。</p> <p>国の文化庁文化財主任調査官から、諏訪原城の現状と課題をまとめるように指導があったため、現在事務局でまとめている。</p> <p>(質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、現状と課題について、諏訪原城跡への交通手段としてコミュニティバスとあるが、このバスはどこが運営しているのかという質問があり、事務局から市が運営していると回答したところ、来年の諏訪原城展の開催期間中だけでも、諏訪原城に来るバスの本数を増やしたり、島田駅～博物館～諏訪原城跡を巡るバスを運行したりできないか検討して欲しいと要望があった。 <p>《現地視察》</p> <p>物見台設置状況、二の曲輪中馬出外周園路整備箇所、本曲輪東側のクラウドファンディングによる伐採箇所</p>
<p>提出された資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度諏訪原城クラウドファンディングについて（報告） ・諏訪原城活用事業について（報告） ・令和5年度 第92回企画展「築城450年記念諏訪原城」開催要項（案）

会議を所管する課 の名称	島田市観光文化部博物館課
その他必要な事項	次回開催は令和5年2月9日(木)